

## 埼玉県内企業の2017年度の景気見通し調査

調査企業：県内企業 565 社

調査方法：アンケート方式（2017年8月中旬 郵送回収）

回答企業：224 社（回答率 39.6%）業種別内訳：製造業 128 社 非製造業 96 社

### 要旨

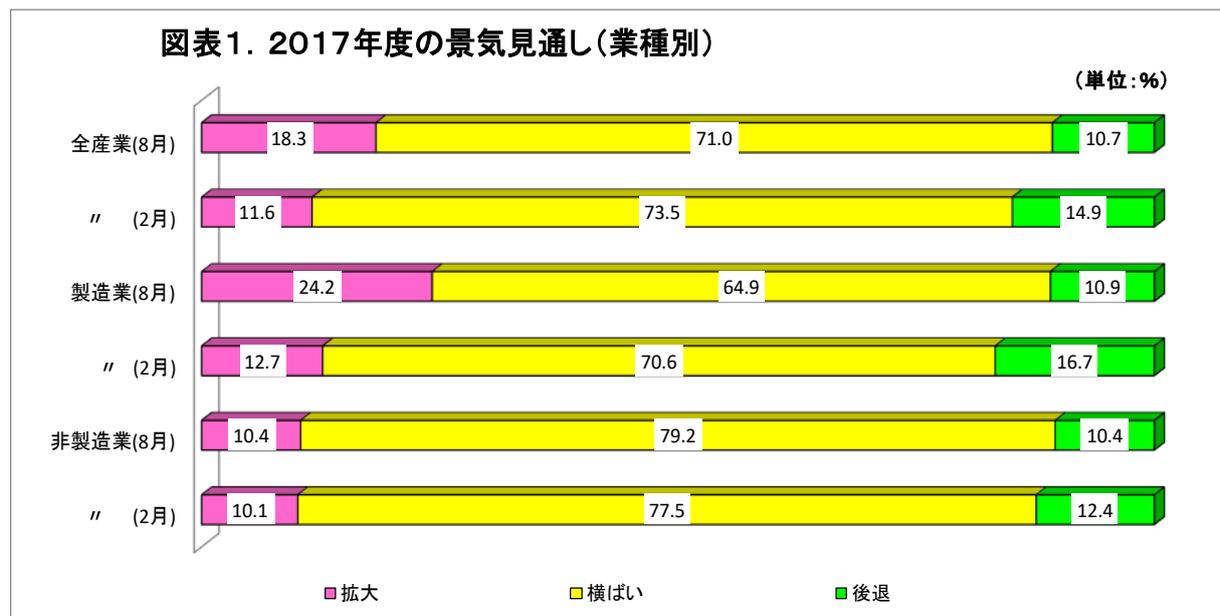
- 2017年度の景気見通しを聞いたところ、2017年度の国内景気は、2016年度と比べて「横ばい」とする企業が、7割強と最も多くなっている。「拡大」とする企業は18.3%、「後退」とする企業は10.7%で、「拡大」とする企業は、「後退」とする企業を7.6割上回っている。
- 「拡大」と回答した企業に、その要因を聞いたところ、「東京オリンピック・パラリンピック準備の本格化」が58.5%と最も多く、次いで「公共投資（インフラ整備等）、設備投資の拡大」が46.3%、「円安進行による輸出企業の業績改善」が34.1%で続いている。
- 「後退」と回答した企業に、その要因を聞いたところ、「消費の低迷」が69.6%と最も多く、次いで「デフレ持続、販売価格の下落」が34.8%、「雇用・賃金環境の悪化」が21.7%で続いている。（「その他」を除く。）

### 1. 2017年度の国内景気見通し（有効回答数224）

2017年度の国内景気は、2016年度と比べてどのように終わるとみているのかを聞いたところ、全産業で、「横ばい」とする企業（以下、「横ばい」）は、71.0%で7割強と最も多くなっている。「拡大」とする企業（以下、「拡大」）は18.3%、「後退」とする企業（以下、「後退」）は10.7%で、「拡大」は、「後退」を7.6割上回っている。

2017年2月調査（以下、前回調査）と比較すると、「横ばい」は、（前回調査73.5%→今回調査71.0%、以下同じ。）7割強と最多で変わらない。しかし、「拡大」は、（11.6%→18.3%）6.7割上回る一方、「後退」は、（14.9%→10.7%）4.2割下回っている。前回調査では、「後退」が「拡大」より多かったのに対して、今回調査では「拡大」が、「後退」より多くなった。このことから、景気が改善するとの見方が増えていることが窺われる。

図表1. 2017年度の景気見通し（業種別）



業種別に前回調査と今回調査を比較すると、「横ばい」は、製造業（70.6%→64.9%）、非製造業（77.5%→79.2%）との間に増減に違いはあるものの、ともに最も多い状況に変わりはない。製造

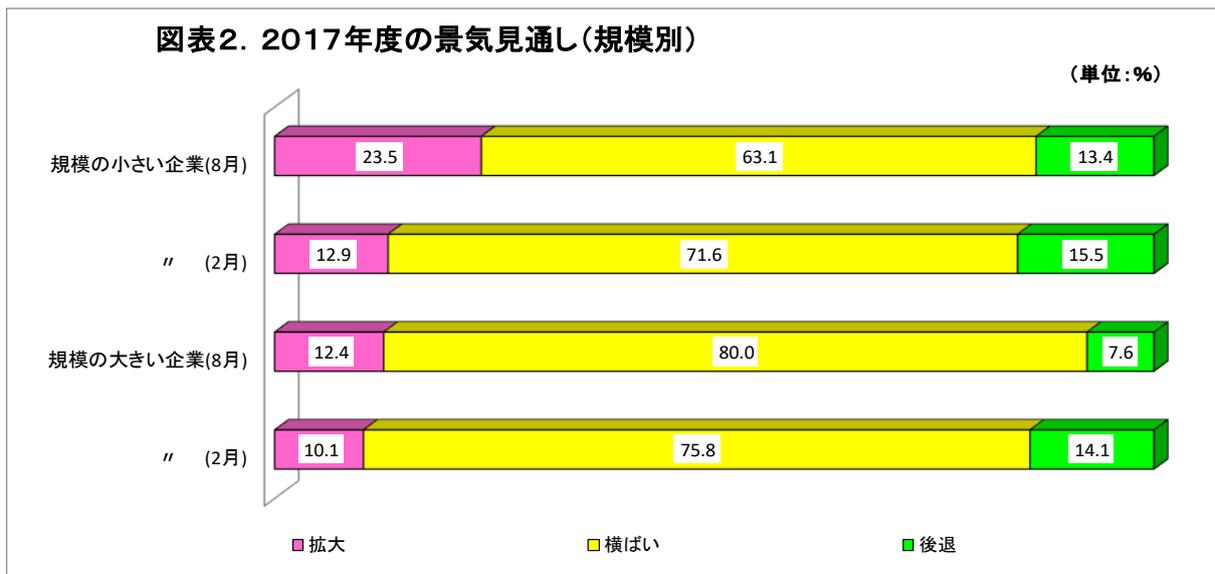
業は、「拡大」(12.7%→24.2%)が11.5 ㊦と大幅に上回る一方、「後退」(16.7%→10.9%)は5.8 ㊦下回っている。同様に非製造業も、「拡大」(10.1%→10.4%)が0.3 ㊦上回る一方、「後退」(12.4%→10.4%)が2.0 ㊦下回っている。

製造業が牽引する形で、製造業と非製造業ともに景気の「拡大」が増え、「後退」が減っている。(図表1)

規模別に前回調査と今回調査を比較すると、「横ばい」は、従業員100人未満の企業(以下、規模の小さい企業)(71.6%→63.1%)、従業員100人以上の企業(以下、規模の大きい企業)(75.8%→80.0%)との間に増減に違いはあるものの、ともに最も多い状況に変わりはない。規模の小さい企業は、「拡大」(12.9%→23.5%)が今回調査で10.6 ㊦上回る一方、「後退」(15.5%→13.4%)が今回調査で2.1 ㊦下回っている。同様に規模の大きい企業も、「拡大」(10.1%→12.4%)が2.3 ㊦上回る一方、「後退」(14.1%→7.6%)が6.5 ㊦下回っている。

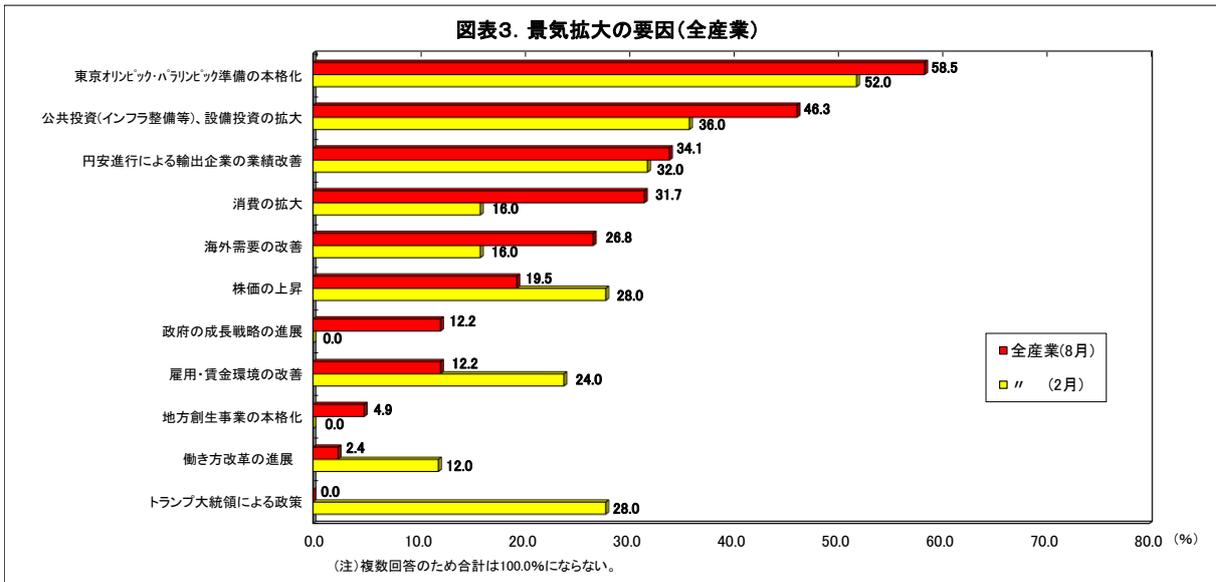
規模の小さい企業、規模の大きい企業ともに、前回調査では、景気の「後退」が、景気の「拡大」よりも多かったが、今回調査では、対照的に景気の「拡大」が、景気の「後退」より多くなっている。

規模の小さい企業は、規模の大きい企業よりも「拡大」がほぼ倍となり、景気改善の広がりが窺われる。(図表2)

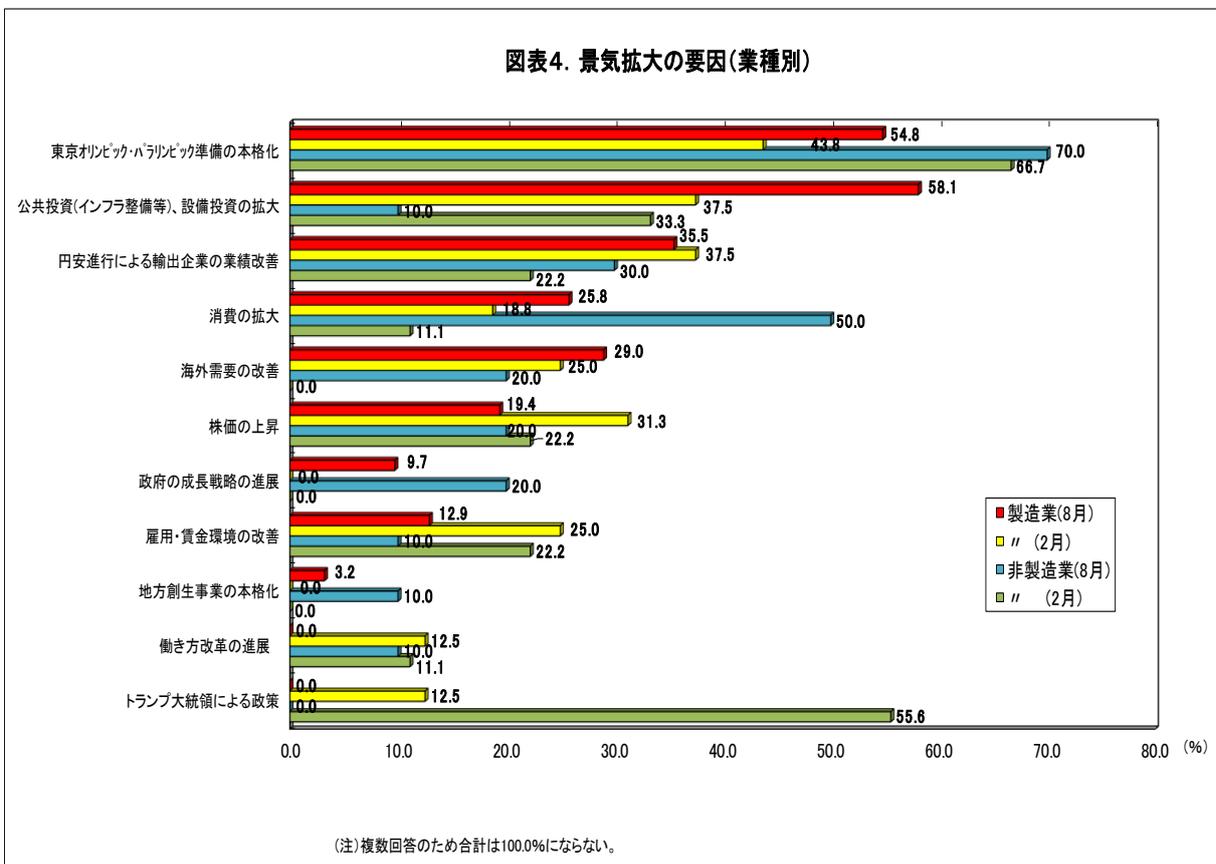


2. 景気拡大の要因 (有効回答数 41) (3項目までの複数回答)

2017年度の国内景気は、「拡大」すると回答した企業にその要因を聞いたところ、全産業について前回調査と今回調査を比較すると、「東京オリンピック準備の本格化」(52.0%→58.5%)が1位、「公共投資(インフラ整備等)、設備投資の拡大」(36.0%→46.3%)が2位、「円安進行による輸出企業の業績改善」(32.0%→34.1%)が3位と、上位3項目の順位に変更はなかったが、その比率はいずれも上昇している。その他では、「消費の拡大」(16.0%→31.7%)と「海外需要の改善」(16.0%→26.8%)は、ともに比率が上昇し、順位を繰り上げている。また、今回調査で、「トランプ大統領による政策」(28.0%→0.0%)を挙げる企業がなくなり、「雇用・賃金環境の改善」(24.0%→12.2%)の比率が大幅に低下している。一方、前回調査でゼロであった「政府の成長戦略の進展」(0.0%→12.2%)を挙げる企業がみられた。今後、景気が拡大するために不可欠な政府の成長戦略に期待が寄せられたと見られる。(図表3)



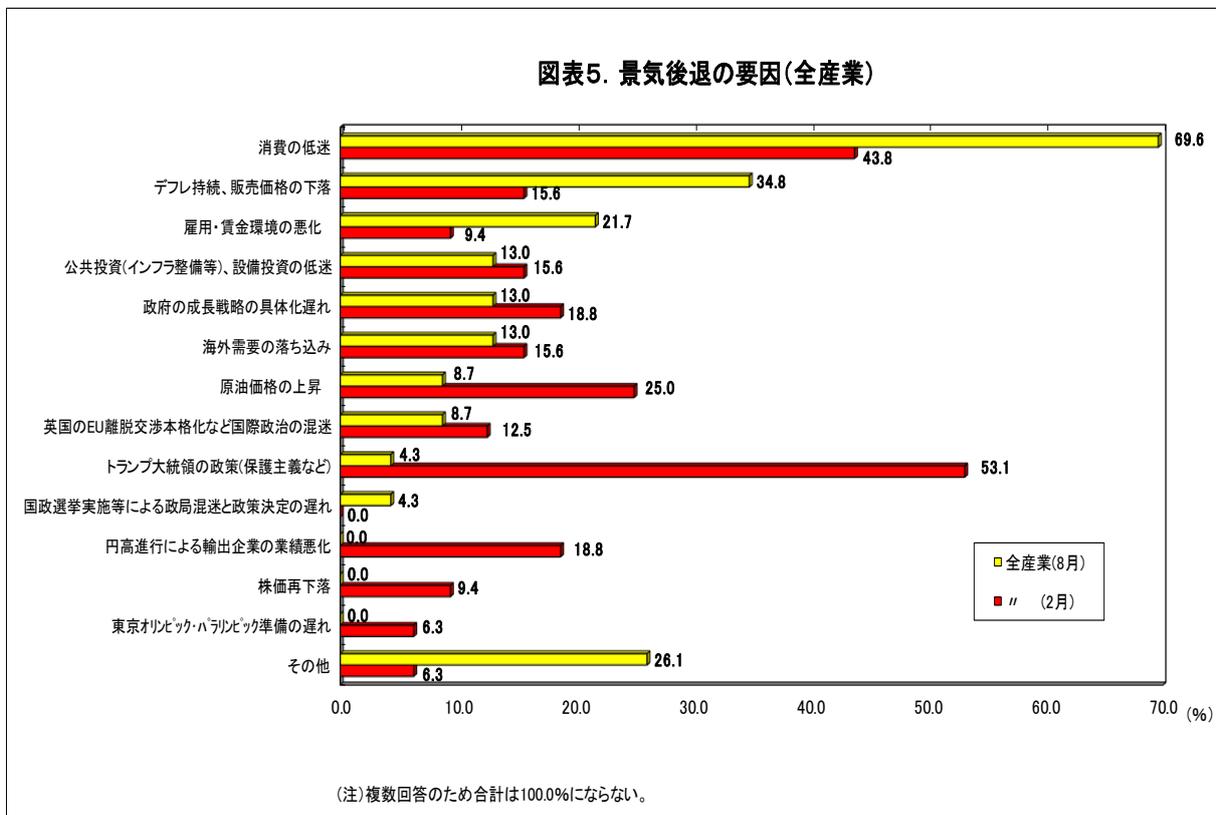
業種別に景気拡大の要因について前回調査と今回調査を比較すると、製造業では、「公共投資(インフラ整備等)、設備投資の拡大」(37.5%→58.1%)が2位から1位へ、「東京オリンピックパラリンピック準備の本格化」(43.8%→54.8%)が1位から2位へ、「円安進行による輸出企業の業績改善」(37.5%→35.5%)が2位から3位と、上位3項目の順位が入れ替わっている。この他、「株価の上昇」(31.3%→19.4%)の比率が低下し、順位を繰り下げ、一方で「海外需要の改善」(25.0%→29.0%)の比率が上昇し、順位を繰り上げている。



非製造業では、「東京オリンピックパラリンピック準備の本格化」(66.7%→70.0%)は1位を維持しているが、「消費の拡大」(11.1%→50.0%)が7位から2位へ浮上している。一方、「トランプ大統領による政策」(55.6%→0.0%)が、6割弱からこれを挙げる企業がゼロとなり、「公共投資(インフラ整備等)、設備投資の拡大」(33.3%→10.0%)が3位から5位へ後退している。(図表4)

### 3. 景気後退の要因(有効回答数23)(3項目までの複数回答)

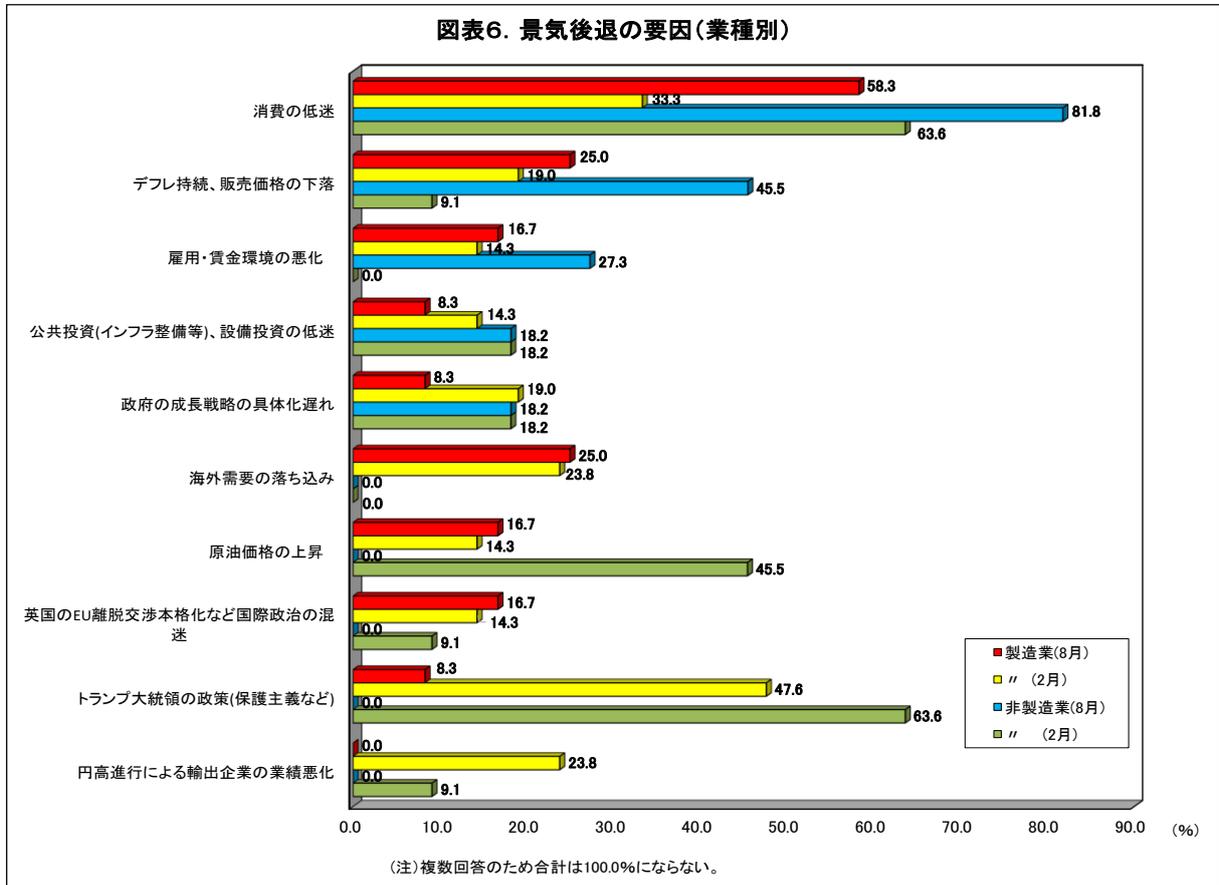
2017年度の国内景気が「後退」と回答した企業に、その要因を聞いたところ、全産業で前回調査と今回調査を比較すると、「消費の低迷」(43.8%→69.6%)が2位から1位へ、「デフレ持続、販売価格の下落」(15.6%→34.8%)が6位から2位へ、「雇用・賃金環境の悪化」(9.4%→21.7%)が10位から4位へといずれも順位を繰り上げている。一方、「トランプ大統領の政策(保護主義など)」(53.1%→4.3%)が1位から10位に、「原油価格の上昇」(25.0%→8.7%)も3位から8位に順位を繰り下げている。(図表5)



業種別に前回調査と今回調査を比較すると、製造業では、「デフレ持続、販売価格の下落」(19.0%→25.0%)が5位から3位へ、「雇用・賃金環境の悪化」(14.3%→16.7%)が7位から5位へ順位を繰り上げている。一方、「トランプ大統領の政策(保護主義など)」(47.6%→8.3%)が、比率を低下させ、1位から8位へ順位を繰り下げている。「円高進行による輸出企業の業績悪化」は、前回調査では23.8%で3位であったが、今回調査ではゼロとなっている。

非製造業では、「消費の低迷」(63.6%→81.8%)と、「デフレ持続、販売価格の下落」(9.1%→45.5%)の比率が上昇している。一方、前回調査では1位であった「トランプ大統領の政策(保護主義など)」(63.6%)、3位であった「原油価格の上昇」(45.5%)などの企業が今回調査ではゼロとなっている。

製造業では、景気後退の要因が分散しているのに対して、非製造業では、「消費の低迷」と「デフレ持続、販売価格の下落」が他を大きく引き離している。(図表6)



#### 4. まとめ

2017年度の国内景気見通しについて「横ばい」は前回調査と今回調査とも7割程度ある中で、「拡大」が増加し、「後退」が減少している。

2017年度の景気見通しが改善している背景には、海外経済が復調し、円ドル相場や原油価格相場が安定しているほか、上場企業を中心に2018年3月期決算が2期連続で最高益を更新すると予想されていることなどがあるとみられる。緩やかな回復基調にある経済環境を受けて、今後、埼玉県内企業では、業績の回復が期待されることから、景気に対して前向きな見方が増えているとみられる。

景気が拡大するとした企業についてみると、その要因として全産業では、「東京オリンピックパラリンピック準備の本格化」が最も多く、次いで「公共投資(インフラ整備等)、設備投資の拡大」が挙げられている。オリンピック関連需要の本格化や設備投資拡大による建設投資の景気押し上げを想定していると見られる。この他、調査時点で2016年後半の100円台前半から110円程度の円安にシフトしてきているため「円安進行による輸出企業の業績改善」が上位に入っていると見られる。

一方、景気が後退するとした企業では、「消費の低迷」のほか、「デフレ持続、販売価格の下落」、「雇用・賃金環境の悪化」を挙げる企業が多い。個人消費の回復に期待が持てないことが窺われる。